

平成27年度 事業計画

事業実施方針

日本銀行北九州支店は、「北九州・京築地区の経済は、一部に引き続き弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。生産をみると、鉄鋼・電気機械など多くの業種で高めの水準が続く中、自動車における国内向け車種の在庫調整進捗を主因に、全体として増加しつつある。この間、堅調な海外需要を背景に、輸出は持ち直している。設備投資は、収益が堅調に推移する中、先行きの需要増加を見込む先が多いことから、持ち直しが明確になっている。個人消費は、消費者の生活防衛意識の高まりを背景に、幾分弱めの動きとなっているほか、住宅投資も、弱めの動きとなっている。この間、公共投資は高水準で推移している。」としている。

こうした経済情勢の下、北九州港の平成26年海上出入貨物取扱量は、1億トン（推計：以下同じ）で、前年と比較してほぼ横ばいの見込みである。国別の輸出上位3か国では、台湾が増加し、韓国、中国は減少している。輸入では、オーストラリア、インドネシアが増加し、中国は減少している。

一方、コンテナ貨物取扱量は48万TEUで、ほぼ横ばいと見込まれている。

今後は、景気の回復傾向が北九州港の活性化に結びつくよう、北九州港一丸となった一層の取組みが求められる。

当協会は、一般社団法人として法令に従い一層適切な法人運営に努めるとともに、北九州市、会員企業、海運港湾関係団体と協力し、また、関係行政機関の指導支援を得ながら、北九州港の振興活動や市民PR事業を積極的に推進し、北九州港ひいては地域経済発展に寄与していく所存である。また、今年度は北九州港振興協会50周年記念事業を成功させ、新たな飛躍の年とする。

当協会は、今年度、設立50周年を迎え、様々な記念行事を実施するとともに、次の方針に基づき振興活動等に取り組んでいく。

第一に、北九州港の振興対策として、みなと振興懇談会などを開催し、港湾管理者等との意見交換により民間の立場から改善案等を提案する。

第二に、北九州港の機能発揮と利用促進のため、啓蒙宣伝活動、ポートセールス事業に積極的に取り組む。

第三に、北九州港に関する最新情報の発信や物流・経済に関する研修会の開催、会員交流の場の提供等、会員向サービスの向上に努める。

第四に、「未来へきれいな海・海岸」を引き継ぐために、北九州市・港湾関係団体と協力して港や海岸周辺の清掃及び啓蒙活動を実施する。

事業計画 ()内は実施予定時期

1 振興対策事業

北九州港の整備及び振興対策について、情報提供に努め、民間の立場から施策を提案する。

〔1〕みなと振興懇談会（1月）

北九州港・空港の港湾整備や振興策、今後の課題等について、当協会正副会長と北九州市港湾空港局幹部職員で意見交換し懇談する。

〔2〕北九州港港湾調査データ作成業務（通年）

港湾事業者等から提供された申告書を規定フォームへ入力し、統計法に基づき、港湾統計データを集計する。（北九州市からの受託事業）

2 啓蒙宣伝活動事業

年間を通して、様々な啓蒙宣伝活動を実施する。

〔1〕北九州港セミナー（2月）

荷主、船社等北九州港のユーザーを対象に、北九州港のPRと一層の利用促進を目的にセミナーを開催する。

- ・主催 北九州港航路集荷対策委員会、(一社)北九州港振興協会ほか
- ・開催地 東京等

〔2〕海外ポートミッション

海外の港湾施設・活動状況等の調査研究のため、視察研修を実施する。

- ・訪問地 海外先進港等、国外の主要港湾
- ・参加者 当協会会員

〔3〕記念品の製作・頒布（通年）

北九州港のシンボルマークやマスコットキャラクター「スナQ」をデザインした記念品等を製作、頒布する。

- ・頒布品 ネクタイ、ハンカチ等

〔4〕海外ポートセールスミッションへの参加

海外の主要船社・商社貿易事業者等を訪問し、北九州港のPRと航路誘致のため、海外ポートセールスミッションに参加する。

- ・主催 北九州港航路集貨対策委員会

〔5〕 歓迎訪船（通年）

北九州港に初入港した船舶、新規航路の第一船等を対象に歓迎訪船を実施し、歓迎のメッセージを伝え、北九州港をPRする。（北九州市との共同事業）

〔6〕 北九州ポート・アテンダントの活動（通年）

各種式典、セミナー、イベントの司会・進行や歓迎訪船の花束贈呈などを通じて、北九州港をPRする。

〔7〕 北九州港オリエンテーション（4月）

海運・港湾・貿易企業の新入社員等が港湾業務の基本を学ぶよう、港湾・貿易講座等実務研修と太刀浦CT、ひびきCT等の視察を実施する。（北九州貿易協会との共同事業）

〔8〕 港湾整備事業説明会（6月）

各年度の北九州港整備事業、将来計画等について、海運・港湾企業を対象に、国、市が直接説明する事業説明会を開催する。

・ 講師 国土交通省九州地方整備局・北九州市港湾空港局

〔9〕 港湾セミナー（1月）

世界の港湾の最新情報や物流動向、関連する経済情勢などを学ぶため、一般市民、企業を対象に講演会を開催する。

〔10〕 北九州港・みなとまちづくり事業（通年）

北九州港の役割や海辺の魅力を市民に周知するため様々なイベントを開催し、積極的な情報発信を図る。（北九州市からの受託事業）

①船舶公開

独立行政法人航海訓練所「青雲丸」等を招き、市民に船内を一般公開して海・港・船について理解を深めてもらう。

②北九州港クルージング事業

小型船舶を利用して、門司、小倉、洞海地区から乗船し、ひびきコンテナターミナルや風力発電施設等の港湾施設を海から観覧学習する。

③クルーズ客船おもてなし事業

北九州港への客船寄港の定着化を図るため、北九州市と共に客船の歓迎行事を行うなど

〔11〕 「海の日」協賛会の行事（7月～10月）

「北九州海の日協賛会」事務局として、海事海洋思想の普及のため、関門港ポー

ト天国、海事功労者表彰式典、海の写真展、巡視船体験航海、絵画コンクールなどの行事を開催する。

なお、当協会は次の事業を担当、実施する。

- ①みなと見学会（みなとめぐりクイズ大会）
- ②ウォーターフロントクリーンマナーアップ作戦
- ③花火大会への協賛

くきのうみ花火大会、海峡花火大会（海の日関連行事）を支援する。

〔12〕 海の日・海峡クルージング（8月）

大型フェリーを利用して、関門海峡の体験航海を実施する。協会は事務局を担当する。

〔13〕 定期刊行物の発行（通年）

北九州港に関する最新情報の提供、北九州港PRのため、次の定期刊行物を発行する。

- ①機関誌「北九州港」 年1回 1,000部
- ②北九州港ニュース 年6回程度 800件（オンライン）

※メールマガジンは北九州港ニュースと融合する。

〔14〕 ホームページの情報提供（通年）

会員及び市民等に向けて、当協会・北九州港の事業に関し情報提供する。

3 港湾関係共益事業

船員、港湾労働者をはじめ海事・港湾関係者のための福利厚生事業を実施する。

〔1〕 戸畑船員サービスセンターの管理

海事関係者の利便向上のため、戸畑船員サービスセンターを管理運営する。

〔2〕 港湾振興協会等事務連絡会（11月）

国内主要港の港湾振興団体の連絡会に参加し、振興事業に関する共通課題の検討、情報交換等を通じて交流を図る。

・参加港 東京、横浜、大阪、神戸、名古屋、博多、川崎、北九州

〔3〕 役員・会員交流サロン（9月～10月）

当協会役員相互の交流促進を図るため、「役員交流サロン」を、また、会員相互の交流のため「会員交流サロン」を開催し、企業視察や交流会などで親睦を深める。

〔4〕国際ビジネス支援研修（6月～11月）

国際化に対応する企業人を育成するため、会員企業を対象に貿易実務講座、英語・中国語講座、国際法務セミナー等研修会を開催する。（北九州貿易協会と共同事業）

〔5〕新年賀詞交歓会（1月）

海運・港湾7団体（関門港運協会、小倉地区港運協会、洞海港運協会、八幡港友会、九州水曜会、門司エーゼント会、北九州港振興協会）の共催で賀詞交歓会を開催する。

4 港内美化事業

未来へきれいな海、海岸を引き継ぐことを目的に、港湾関係団体と共同で清掃活動等を実施する。

5 北九州港振興協会設立50周年記念事業の開催

当協会設立50周年記念事業を実施する。

- ・記念祝賀会
- ・ギラヴァンツ北九州マッチデースポンサーの実施
- ・記念冊子「北九州港で働く職人達」（仮題）など

6 その他の事業

〔1〕駐車場事業

当協会の財政基盤の強化を図り、また、海運港湾事業従事者、観光客の利便を確保するため、北九州市用地を借り受け有料駐車場として管理・運営する。